

# 短期間で専門技術を習得し AI人材育成の可能性を実感させてくれました。



株式会社リョーフ

代表取締役 田中 裕弓さん(左)

R-VISION事業部 事業部長 津田 貴史さん(右)

01

## 有給インターンシップを知ったきっかけは何ですか？

北九州市ロボット・DX推進センターでのインターンシップ受入事業の説明会がきっかけで、有給インターンシップ制度を知りました。もともと九州工業大学(九工大)とは産学連携の取り組みを行っており、優秀な学生が多いことから受け入れを決めました。今年で2年目となり、現在2名の九工大生が有給インターンシップとして来ています。

02

## 有給インターンシップに申し込んだ目的を教えてください

目的の一つは、弊社の仕事内容や社内の雰囲気を知ってもらうことで、もう一つはAI人材を育成することです。社会がIT化していく中で、AI人材が不足しているのが現状です。そのAI人材を育成することも私たちの社会的な役割であると考え、国内外から毎年インターンシップ生を受け入れています。



03

## インターンシップ生を受け入れた感想をお聞かせください

有給インターンシップでは、私たちが使っているAIを活用して企業の課題に取り組んでもらいます。今年初めて担当者が専任で2週間の指導をしたところ高い技術を習得し、その後の効率良いプログラミングのコード作成にも大いに役立ちました。学生が短期間で戦力となり得ることを実感し、教える側としても大きな手応えを感じました。

04

## この制度を活用して得られた成果はありますか？

インターンシップ生には、大学の研究と実際の仕事の違いや、AI活用の楽しさを感じてもらえ、自らの進路をしっかりと見極めるいい機会になっているようです。また、ユーザー企業の案件では、即戦力として、弊社製品である「チャットGPT」のサービス等を活用した、事務DXの課題解決の助けになっているようです。

### 参加学生の声

株式会社リョーフでのインターンシップでたくさんのことを学ばせてもらっています。AIを使った新規事業開発に携わっており、最先端のAIの使い方を教えてもらいながら作業を進めています。AIの使い方は学校では教えてもらえないのですが、とても便利なので活用せずに将来を過ごすのはもったいないと感じています。

社員の方も優しく楽しく、やる気を持って仕事をしています。

工学部 機械知能工学科 知能制御工学コース 2年



### 株式会社リョーフ

代表取締役: 田中 裕弓

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル7F

<https://e-ryowa.com/>

油圧機器の販売から油圧ユニットの設計・製作、配管工事、フラッシング、試運転立会、メンテナンス、改造工事、外観検査装置の設計・製作までトータルで手掛けています。

